

**参加者にもれなく  
ヤマサ醤油「本醸造醤油  
セット」プレゼント!**

**応募方法**

①〒住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号  
 ⑤参加人数(1通の申し込みで2名まで。  
 2名で参加希望の場合は同伴者名)を明記  
 して、ハガキ、メール、ファックスでご  
 応募ください。

※応募の個人情報は当選者への招待状の発送と  
 事務局からの連絡のみに使用致します。

**ハガキ** 〒556-8662(住所不要)  
 産経新聞社メディア営業局  
 「広川町シンポジウム」係

**メール** o-kikaku@sankei.co.jp  
 ※件名に「広川町シンポジウム」と明記。

**ファックス** 06-6633-9590  
 ※件名に「広川町シンポジウム」と明記。

**締め切り** 8月19日(月)必着  
 ※応募者多数の場合、抽選のうえ  
 当選者に招待状をお送りします。

**お問い合わせ** Tel.06-6633-9526  
 (平日10時～17時)

◆主催／広川町

◆共催／広川町日本遺産推進協議会  
広川町教育委員会

◆後援／ヤマサ醤油株式会社、東濱植林株式会社  
和歌山県教育委員会  
和歌山県、産経新聞社

**黒田 尚嗣さん**  
 (クラブツーリズム・テーマ旅行部顧問)

**永瀬 節治さん**  
 (和歌山大学観光学部 准教授)

**旭堂 南陵さん**  
 (講師、大阪芸術大学客員教授)

**平井 理央さん**  
 (フリーアナウンサー)

**荒俣 宏さん**  
 (作家・博物学者)

Goro Hamaguchi  
 200  
 BIRTH  
 ANNIVERSARY  
 1820 2020

**参加者募集**  
入場無料 定員400人

和歌山県 広川町

日本遺産認定記念シンポジウム

濱口梧陵生誕200年プレイベント

広川町

**濱口梧陵を生んだ  
紀州広川の挑戦**

**防災の日**

**日時** 9月1日(日)

開場 13時00分  
 開演 13時30分  
 終演 16時10分予定

**会場** エルセラーンホール  
大阪市北区堂島1-5-25

JR「大阪駅」、「北新地駅」、大阪メトロ「梅田駅」東梅田駅「西梅田駅」、  
 阪急「梅田駅」、阪神「梅田駅」、京阪「渡辺橋」各駅より徒歩5分～10分

日本遺産に認定された「百世の安堵」津波と復興の記憶が生きたる広川の防災遺産」(和歌山県広川町)のストーリーは安政元年11月5日の「稲むらの火」の物語から始まります。そして、そのストーリーを構成するのは、「稲むらの火」を踏まえて、町の人々が残した様々な文化遺産です。津波被害に遭いながらも海と向き合い、海との共存を選んだ広川町には、復興を成し遂げた濱口梧陵の教えが根底に流れています。

本シンポジウムでは、各分野のプロをお迎えし、濱口梧陵翁の偉業を顕彰しながら、その人柄に触れ、日本遺産とともに広川町の観光資源の魅力を伝え、濱口梧陵の生誕200年にあたる2020年を見据えて、未来の観光とまちづくりを考えます。

**プログラム**

**トークショー**  
紀州が生んだ偉人 濱口梧陵

荒俣 宏さん(作家・博物学者)  
平井 理央さん(フリーアナウンサー)

**講演**  
濱目「稲むらの火」

旭堂 南陵さん(講師、大阪芸術大学客員教授)

**パネルディスカッション**  
「日本遺産を活かした  
観光とまちづくり」

◆コーディネーター  
永瀬 節治さん(和歌山大学観光学部 准教授)

◆パネリスト  
荒俣 宏さん  
黒田 尚嗣さん(クラブツーリズムテーマ旅行部顧問)  
西岡 利記(広川町長)

和歌山県 広川町 日本遺産認定記念シンポジウム

濱口梧陵生誕200年プレイベント

# 濱口梧陵を生んだ 紀州広川の挑戦

日時

防災の日

9月1日(日)

開場 13時00分～  
開演 13時30分～  
終演 16時10分予定

会場

エルセラーンホール

大阪市北区堂島  
1-5-25

JR「大阪駅」「北新地駅」、大阪メトロ「梅田駅」「東梅田駅」「西梅田駅」、  
阪急「梅田駅」、阪神「梅田駅」、京阪「渡辺橋」各駅より徒歩5分～10分



参加者にもれなく  
ヤマサ醤油「本醸造醤油  
セット」プレゼント!

参加者募集  
入場無料  
定員400人

日本遺産に認定された「百世の安堵  
～津波と復興の記憶が生きる広川の防  
災遺産～」(和歌山県広川町)のストー  
リーは安政元年11月5日の「稲むらの火」  
の物語から始まります。そして、そのストー  
リーを構成するのは、「稲むらの火」を踏まえて、町の人々が残した  
様々な文化遺産です。津波被害に遭いながらも海と向き合い、  
海との共存を選んだ広川町には、復興を成し遂げた濱口梧陵  
の教えが根底に流れています。

本シンポジウムでは、各分野のプロをお迎えし、濱口梧陵の  
偉業を顕彰しながら、その人柄に触れ、日本遺産とともに広川町  
の観光資源の魅力を伝え、濱  
口梧陵翁の生誕200年にあた  
る2020年を見据えて、未来の  
観光とまちづくりを考えます。

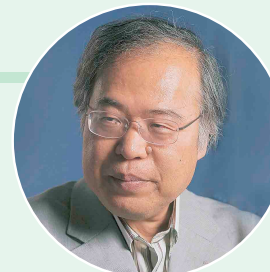


## プログラム

### トークショー

## 紀州・広川が生んだ偉人 濱口梧陵

荒俣 宏さん(作家・博物学者)  
平井 理央さん(フリーアナウンサー)



荒俣 宏さん



平井 理央さん



旭堂 南陵さん

### 講 談

## 演目「稲むらの火」

旭堂 南陵さん(講談師、大阪芸術大学客員教授)

### パネルディスカッション

## 「日本遺産を活かした観光とまちづくり」

- ◆コーディネーター 永瀬 節治さん(和歌山大学観光学部 准教授)
- ◆パネリスト 荒俣 宏さん 黒田 尚嗣さん(クラブツーリズム・テーマ旅行部顧問)  
西岡 利記(広川町長)



黒田 尚嗣さん



永瀬 節治さん

## 応募方法

- ①〒住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号
- ⑤参加人数(1通の申し込みで2名まで。  
2名で参加希望の場合は同伴者名)を明記  
して、ハガキ、メール、ファックスでご  
応募ください。

※応募の個人情報は当選者への招待状の発送と  
事務局からの連絡のみに使用致します。

ハガキ 〒556-8662(住所不要)  
産経新聞社メディア営業局  
「広川町シンポジウム」係

メール o-kikaku@sankei.co.jp  
※件名に「広川町シンポジウム」と明記。

ファックス 06-6633-9590  
※件名に「広川町シンポジウム」と明記。

締め切り 8月19日(月)必着  
※応募者多数の場合、抽選のうえ  
当選者に招待状をお送りします。

お問い合わせ Tel.06-6633-9526  
(平日10時～17時)

- ◆主催／広川町
- ◆共催／広川町日本遺産推進協議会  
広川町教育委員会
- ◆後援／ヤマサ醤油株式会社、東濱植林株式会社  
和歌山県教育委員会  
和歌山県、産経新聞社